

1. 2025 年度 春学期・第 1 クォーター・第 2 クォーター 授業アンケートについて

【目的】

本学における、学生による授業評価アンケートは、組織的なFD活動の一環として実施している。このアンケートはPDCA サイクルの Check 部分にあたり、授業毎の具体的な効果や問題点を把握し、教育改善に役立てていただくことを目的とする。

【実施期間】

- ・第 1 クォーター : 2025 年 5 月 21 日 (水) ～6 月 9 日 (月)
- ・第 2 クォーター・セメスター (春学期) : 2025 年 7 月 15 日 (火) ～7 月 31 日 (木)

【対象科目】

学部 1,318 講座

【実施方法】

準備 : 学内ポータルサイトでのアンケート実施設定を事務局が行う。

実施依頼 : 専任教員には学内ポータルサイト(メール付)及び会議上で実施依頼。

非常勤教員へは学内ポータルサイト(メール付)で実施依頼。

集計・分析 : 回答データを事務局がダウンロードし大学が委託する事業者へ提供、事業者が集計を行う。

集計結果は教員配付用資料として、常勤教員に対しては学内にて配付、非常勤教員に対しては事業者より各教員へ郵送する。

【内容】

各質問項目に対し、5 段階 (5 件法) で評価する。但し、Q6 はあてはまらない授業もあるため、6 段階とする。なお、自由記述についてはこの限りでない。アンケート用紙は、P. 100 を参照。

質問項目とその質問の意図は以下の通りである。

教員目標明示	Q1. 教員は、この授業の到達目標をはっきりと示した
教員努力	Q2. 教員は、学生がその目標を達成できるよう、意欲的に取り組んだ
教員シラバス対応	Q3. 教員は、シラバスに記載された内容を適切に扱った
教員指示	Q4. 教員は、この授業の事前学修・事後学修をするよう具体的に指示した
コミュニケーション	Q5. 教員は、学生からの質問や相談に十分に応じる姿勢を示していた
教材	Q6. 教材や教具は適切であり、授業理解を深める上で効果的であった
学生意欲	Q7. 私は、この授業の目標を達成すべく、真剣に授業に臨んだ
学生努力	Q8. 私は、わからないことを質問したり調べたりして、その解消に努めた
目標達成	Q9. 私は、この授業の到達目標を達成できた (できる)
成長実感	Q10. 私は、この授業を受けて、気づきや新しい物の見方を得るなど、自身の成長を実感することができた
学生興味	Q11. 私は、この授業を受けてこの科目や関連分野が好きになった
有用性	Q12. 私がこの授業で得たものは、今後の学修活動や人生に活きる
出席率	Q13. あなたのこの授業の出席率はどれくらいでしたか
平均学修時間	Q14. この授業のための事前学修・事後学修に何時間取り組みましたか 授業 1 回当たりの平均学修時間を選択してください

なお、各質問は、Q1～Q6 については「教員努力」、Q7～Q9 については「学生努力」、Q10～Q12 については「満足度」を量る項目として位置づけ全部で 3 つの柱により構成している。

【平均点の計算】

平均点は無回答を除外し、

「5 と思う」	5 点
「4 どちらかと言えばと思う」	4 点
「3 どちらともいえない」	3 点
「2 どちらかと言えばそう思わない」	2 点
「1 そう思わない」	1 点

として計算する。

「Q6 教材や教具は適切であり、授業理解を深める上で効果的であった」の平均点は、「0 この質問はあてはまらないと思う」と答えた回答を除外して計算する。